



2017年4月入職

おかだゆうき
岡田友樹

「思いやりDVD」を制作し、全クリニックに配布したい

透析治療トップクラス的环境中で、スキルを磨く

父親が臨床工学技士で、現在も透析施設で働いています。父は家で仕事の話をする事が多く、子どもの頃から臨床工学技士という仕事を身近に感じていました。患者さまから感謝されたエピソードを嬉しそうに話す父の姿は、今でも鮮明に覚えています。自分も臨床工学技士になろうと心に決めたのは、高校3年生のときです。自分も父のように、スタッフと力を合わせながら患者さまをサポートする人生を歩むことにしました。善仁会グループを選んだのは、病床数が全国トップクラス的环境中で透析をとことん突き詰めたかったから。専門職として働くからには、透析に一番詳しくなれる場所でスキルを磨きたいと思いました。

仕事を始めて6年、この仕事を選んでよかったと感じています。些細なことでも患者さまから褒めただけのことが多く、「岡田さんはいつも丁寧で、とても安心する」といったお言葉をいただいたときには、お役に立てたと感じ、本当に幸せな気持ちになります。忙しいときには目の前の業務で手一杯になってしまいがちですが、そのような患者さまからの言葉一つひとつを思い返しながらか仕事モチベーションを保っています。

プロジェクトの立ち上げという新しいやりがい



思いやりエキスパートに選ばれたときには素直に嬉しかったです。今までの頑張りが評価されたこと、上司や同僚からの期待にも応えることができたと感じました。そして研修の成果は早速出ています。研修で学んだ思いやり行動を実際に取り入れたところ、これまでなかなか打ち解けることができなかった寡黙な患者さまからも、感謝の言葉をかけていただくことができました。

今後は研修で学んだことを意識し、思いやりエキスパートとしての活動に自発的なスタンスで取り組んでいこうと考えています。具体的なアイデアとしては、思いやり行動のDVDの制作です。善仁会グループでは医療安全に関するDVDが定期配布されているのですが、それと併せて思いやり行動について振り返ることができるコンテンツがあれば、スタッフ同士もお互いを尊重し合うことができ、今以上に患者さまから愛されるクリニックになるのではないかと考えています。もしこのようなプロジェクトが発足すれば、リーダーとして全体を引っ張っていくチャンスが巡ってくるかもしれません。新しいやりがいが生まれる可能性があることに、今からワクワクしています。



心のかよう思いやり行動を
実践してまいります。

岡田 友樹